



心不全マーカー検査を ご存じですか？

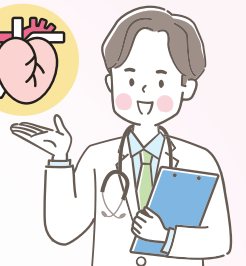
**BNP \geq 35, NT-ProBNP \geq 125は
心不全の可能性ががあります**

心不全の早期発見と治療のための
心不全マーカー(BNPとNT-ProBNP)検査について

Q & A

Q1 心不全マーカー (BNPやNT-ProBNP) とは何ですか？

A BNP (脳性ナトリウム利尿ペプチド) とNT-proBNP (N末端プロ脳性ナトリウム利尿ペプチド) は、心臓の負担をみる血液検査項目です。心臓に負担がかかるとBNPやNT-proBNPが上昇しますので心不全のマーカーとして使われます。



Q2 BNPやNT-ProBNPはどのように検査しますか。

A 一般的な血液検査と同じです。



Q3 BNPやNT-ProBNPはいくつまでなら安心ですか？

A BNPは18.4pg/mL以下、NT-proBNPは55pg/mL以下は正常です。BNPは35pg/mL未満、NT-proBNPは125pg/mL未満も概ね安心ですが、患者さんによっては注意が必要です。



Q4 BNPやNT-ProBNPが異常値の時は どうしたらいいですか？

A BNPは35 pg/mL以上、NT-proBNPは125 pg/mL以上は異常値です。
心不全の可能性があるので、かかりつけの先生に相談しましょう。



Q5 BNPやNT-ProBNPの値が急に 高くなりましたが大丈夫ですか？

A 心不全で通院中の患者さんの心不全マーカー
が急に上昇した時は、いつもより心臓に負担が
かかっている可能性がありますので、かかりつ
けの先生に相談しましょう。



心不全マーカーは心臓への負担を大まかに知ることが
できる検査です。心不全の原因や状態を知るため
には診察やレントゲン、心電図、心エコーなどを組み
合わせて総合的に判断する必要があります。

現在、心臓病で治療を受けている方へ

BNP値はそれぞれの患者さんごとに最適な値があります。

多くの場合は低いほうが良いのですが、必ずしもそうではありません。

治療中の方のBNP値に関しては主治医の先生とよくご相談ください。

最後にこのBNPというホルモンは松尾壽之(まつおひさゆき)博士、寒川賢治(かながわけんじ)博士によって、
1988年に発見されました。我が国の誇る大発見です。

現在、BNP検査は心不全の程度を示す唯一の血液検査として世界中で用いられています。

日本心不全学会 理事長 絹川 弘一郎

心不全予防委員会

井澤 英夫(委員長) / 吉村 道博 / 井手 友美 / 佐藤 直樹 /

佐藤 幸人 / 福田 恵一 / 大西 勝也 / 奥村 貴裕

このパンフレットは
日本心不全学会ホームページから
ダウンロードできます

